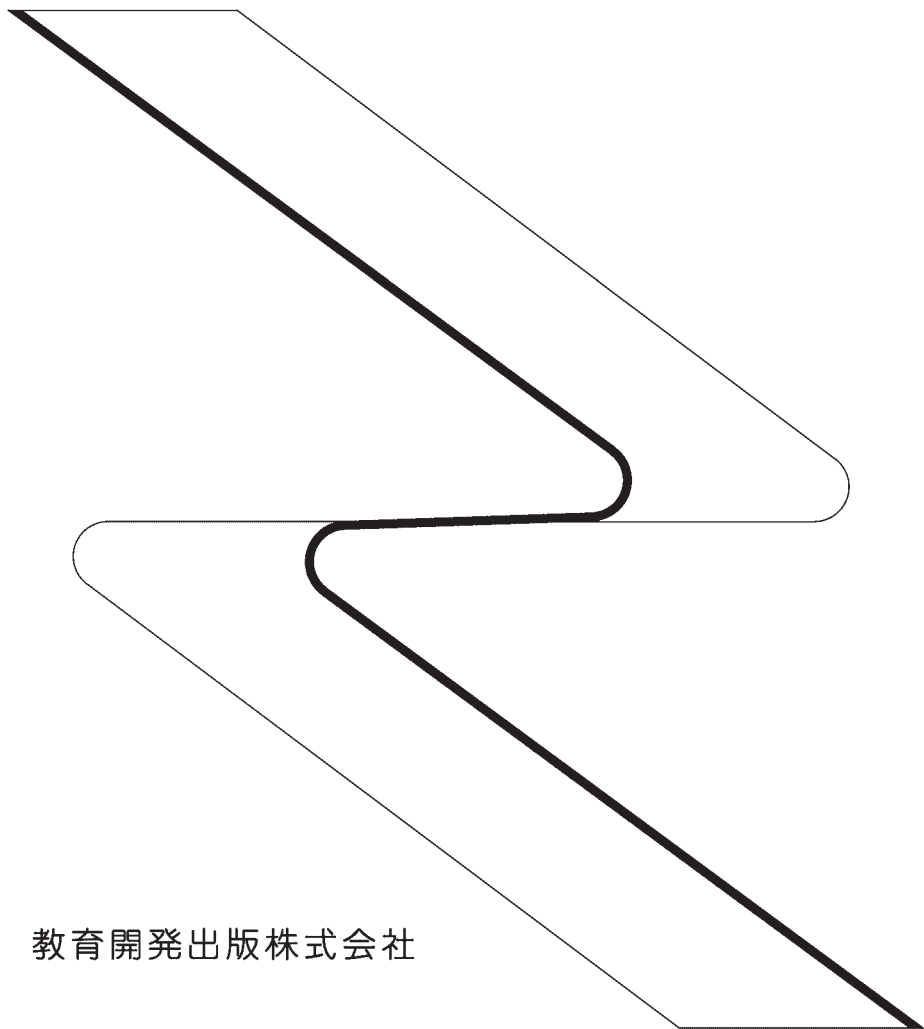


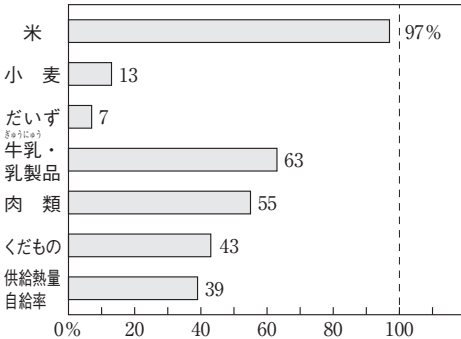
「2016年版」

# 社会資料集

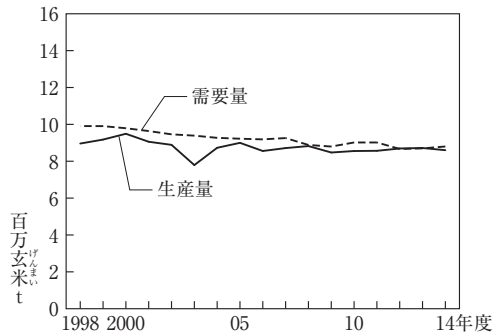


教育開発出版株式会社

●主な食料の自給率（2014年度）

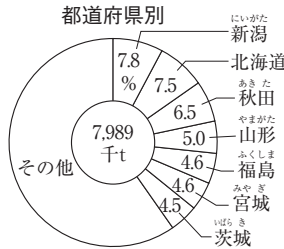
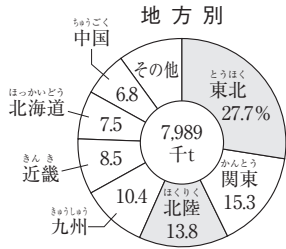


●米の需要と供給のうつり変わり



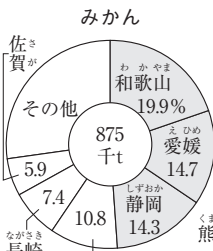
⇩ 食生活の西洋化→小麦は外国産の方が安く、パンの原料に向いている

●米の生産割合（2015年）

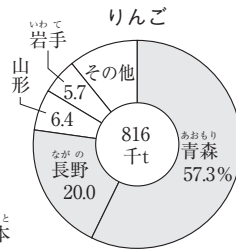


⇩ 東北・北陸…米の単作地帯・わが国の穀倉地帯

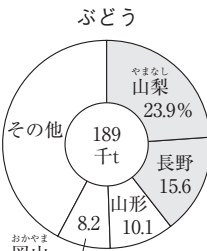
●いろいろな農産物と家畜の都道府県別生産・飼育割合（2014年、\*は2015年）



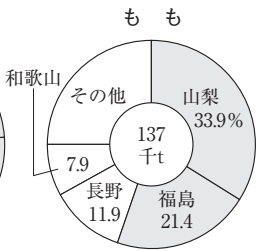
⇩ 暖かい地方、山の斜面



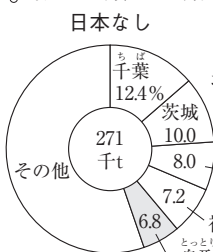
⇩ 寒い地方、津軽平野



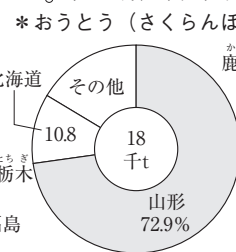
⇩ 甲府盆地



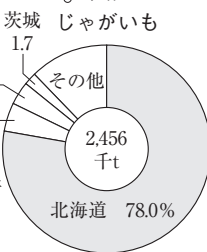
⇩ 甲府盆地・福島盆地



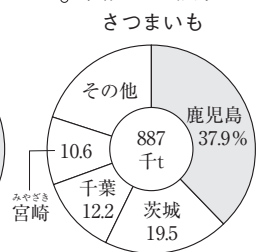
⇩ 鳥取平野



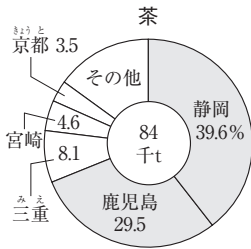
⇩ 山形盆地



⇩ 十勝平野

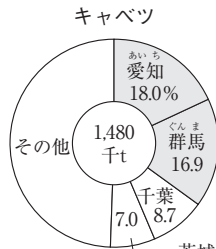


⇩ シラス台地



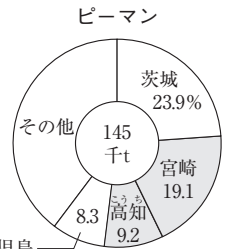
牧ノ原・シラス台地

\* 肉牛



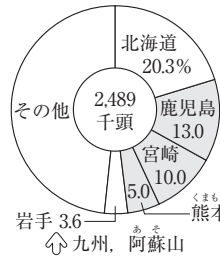
高原野菜, 近郊農業

\* 乳牛

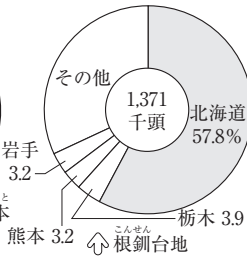


促成栽培・宮崎平野・高知平野

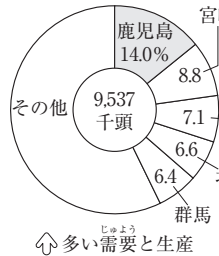
肉用若鶏(ブロイラー)



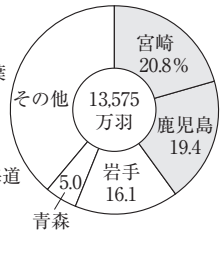
九州, 阿蘇山



根釧台地

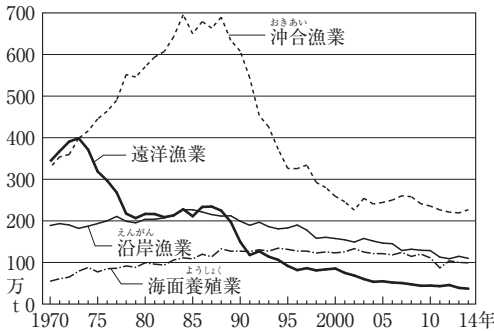


多い需要と生産



## 水産業

### ● 漁業種類別漁かく量のうつり変わり



### ⇐ 沖合漁業

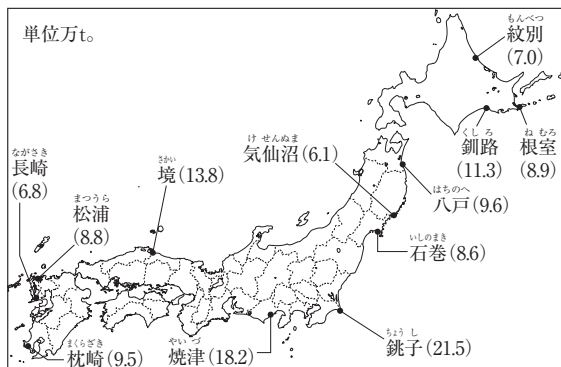
・30~50kmの沖合で数日間かけておこなう…かつお・さんま・あじ

### 遠洋漁業

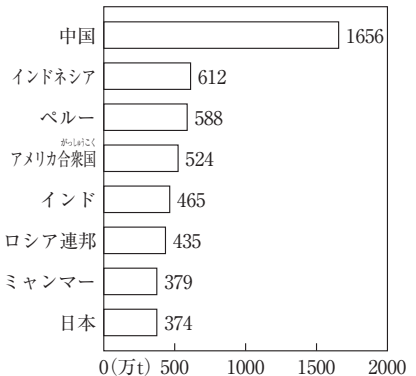
・船団を組み、世界の海で数十日から数か月をかける…かつお・まぐろ

・200海里の(排他的)経済水域の設定による漁かく量の減少→との漁業から育てる漁業へ…養殖業と栽培漁業

### ● 主な漁港の水あげ量 (2013年)

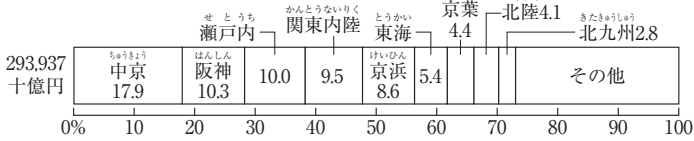


### ● 世界の漁かく量 (2013年)



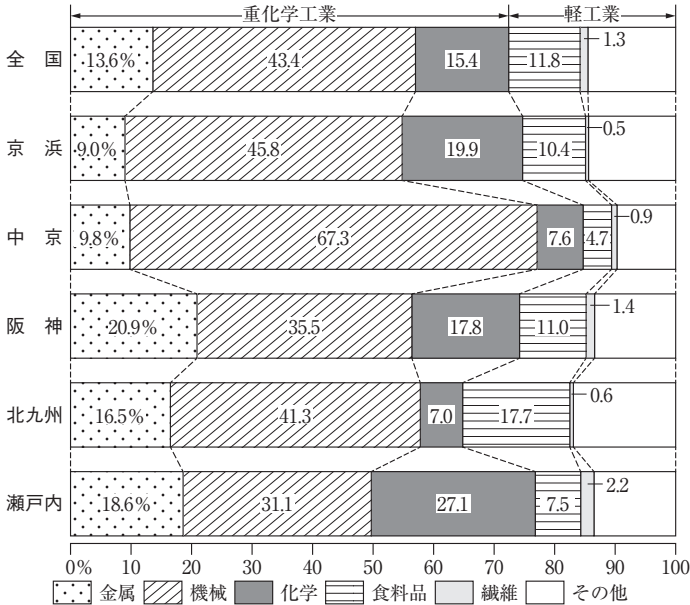
# 工業

## ●全国の工業製品出荷額に占める工業地帯・地域の割合 (2013年)



⇨ 四大工業地帯以外の新しい工業地域の発展

## ●全国と、主な工業地帯・地域の工業種類別出荷額割合 (2013年)



⇨ 重化学工業が約70%

⇨ 機械中心、印刷 (東京都・神奈川県)

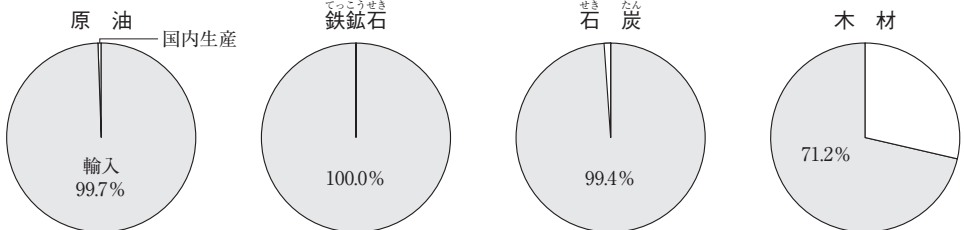
⇨ 自動車、繊維、陶磁器 (愛知県・三重県)

⇨ 総合工業地帯、繊維、雑貨 (大阪府・兵庫県)

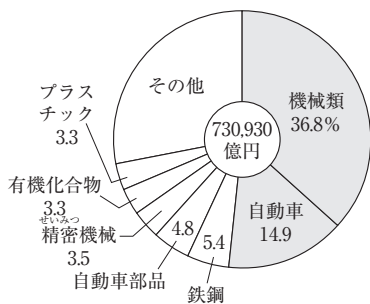
⇨ かつて鉄鋼で発展、食料品 (福岡県)

⇨ 石油化学、繊維 (岡山県・広島県・山口県・愛媛県・香川県)

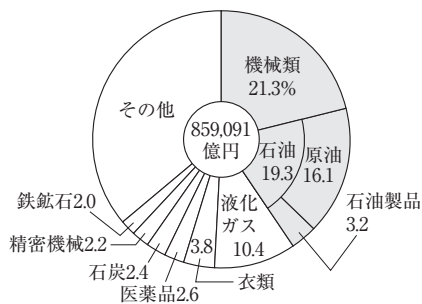
## ●工業原料を輸入にたよる割合 (2013年)



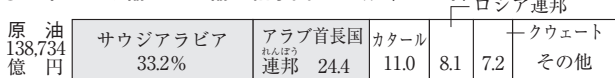
●日本の主な輸出品（2014年）



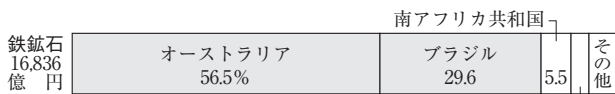
●日本の主な輸入品（2014年）



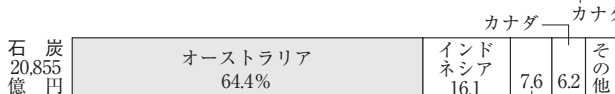
●日本の主な輸入品の輸入相手国・地域（2014年）



↳ 西アジアの国々が多い



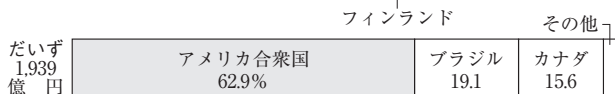
↳ 石炭・石灰石とともに鉄の原料



↳ 国内の主な炭鉱は閉山



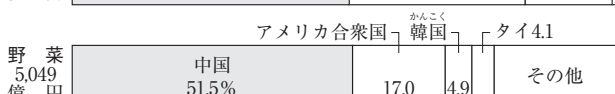
↳ 森林の伐採が環境問題となっている



↳ しょうゆ・みそなどの原料

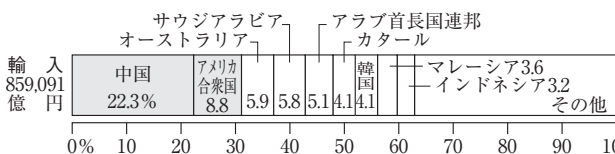


↳ 国内では北海道で半分以上を生産



↳ 近年輸入が増加

●日本の主な貿易相手国・地域（2014年）



↳ 中国をはじめとするアジアの国々、アメリカ合衆国が貿易の中心

●主な国からの日本の輸入品目(2014年)

国名	輸入額	主要輸入品の輸入額に占める割合(%)
中国	191,765	機械類46.3 衣類12.0 金属製品3.2 家具2.3 がん具2.2 プラスチック製品2.0
アメリカ合衆国	75,427	機械類26.9 航空機類6.5 科学光学機器5.5 医薬品5.3 肉類5.1 とうもろこし4.6
オーストラリア	50,897	液化天然ガス31.2 石炭26.4 鉄鉱石18.7 肉類3.7 銅鉱3.1 アルミニウム2.3
サウジアラビア	50,153	原油91.7 石油製品3.5 液化石油ガス2.6 有機化合物1.0
韓国	35,313	機械類30.1 石油製品19.7 鉄鋼9.5 プラスチック4.0 有機化合物3.5 金属製品2.8
マレーシア	30,867	液化天然ガス45.3 機械類19.3 石油製品9.2 合板3.0 原油2.3 プラスチック1.7
インドネシア	27,156	液化天然ガス19.9 原油14.1 石炭12.4 機械類8.8 非鉄卑金属くず3.6
ドイツ	25,515	機械類27.2 自動車24.3 医薬品15.5 有機化合物4.8 科学光学機器4.0
ブラジル	10,245	鉄鉱石48.7 肉類11.8 コーヒー5.2 アルミニウム4.7 有機化合物4.5

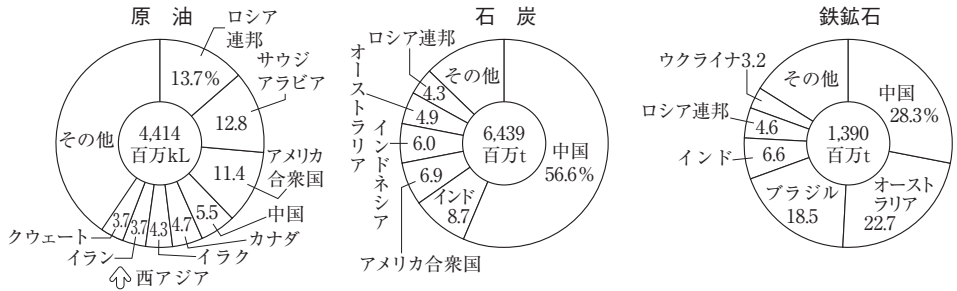
(単位：億円)

●日本の主な貿易港の貿易品目(2014年)

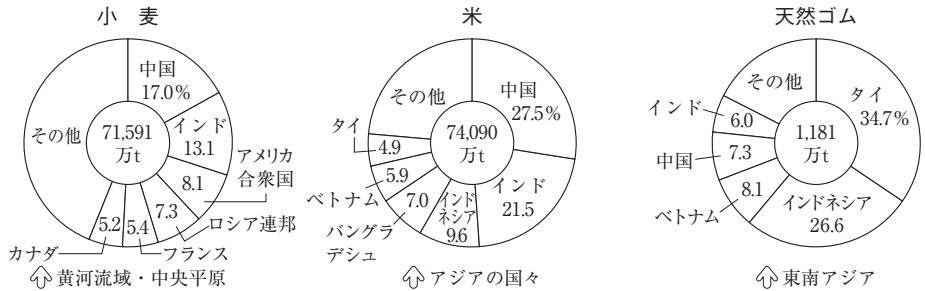
輸出	名古屋	自動車27% 自動車部品15 内燃機関5 金属加工機械5
	成田国際	科学光学機器7% 集積回路6 金(非貨幣用)5 電気回路用品4
	横浜	自動車22% 自動車部品5 内燃機関4 金属加工機械4
	東京	コンピュータ部品6% 自動車部品5 科学光学機器5 プラスチック5
	神戸	プラスチック6% 建設・鉱山用機械5 科学光学機器4 織物類3
	関西国際	集積回路14% 個別半導体9 科学光学機器8 電気回路用品6
輸入	大阪	集積回路14% プラスチック6 科学光学機器5 銅・同合金4
	成田国際	通信機14% 医薬品9 集積回路9 コンピュータ8
	東京	衣類8% コンピュータ6 魚介類5 肉類4
	名古屋	液化ガス14% 石油13 衣類6 アルミニウム5
	千葉	石油59% 液化ガス22 自動車5 鉄鋼2
	大阪	衣類17% 肉類6 家庭用電気機器4 金属製品3
横浜	液化ガス9% 石油9 衣類5 アルミニウム4	
関西国際	医薬品19% 通信機18 集積回路5 科学光学機器5	

◇成田国際空港・関西国際空港は、小型・軽量で高価なものの割合が高い。

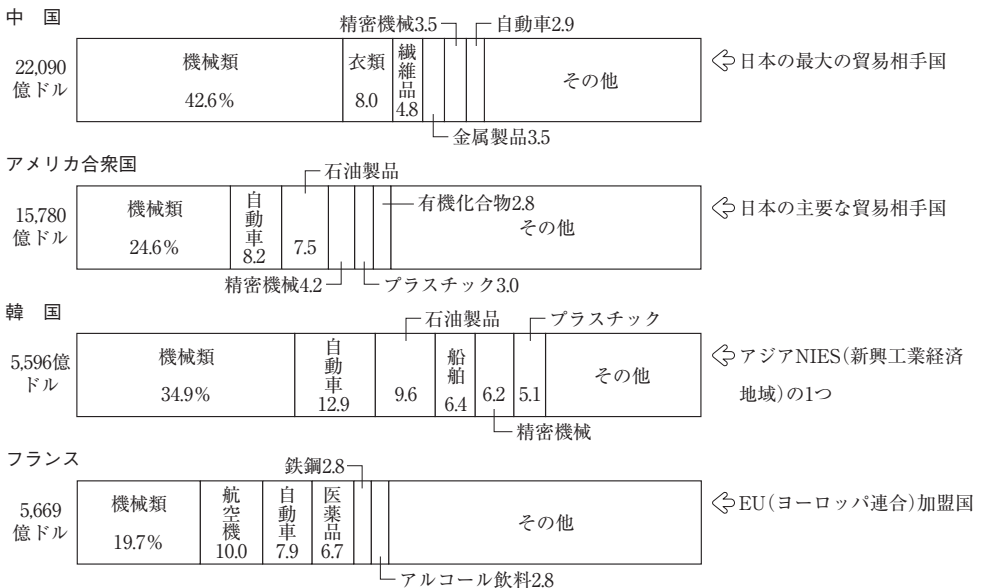
●主な資源の国別産出割合（原油は2014年，石炭，鉄鉱石は2012年）



●主な農産物の国別生産割合（2013年，天然ゴムは2014年）



●主な国の輸出品目（2013年）



## ●社会情勢の変化●

- ◎東日本大震災……2011年3月11日、東北地方の太平洋沖で、マグニチュード9.0の大地震が発生し、それに伴う津波や、福島第一原子力発電所の事故が発生した。これらの災害による死者・行方不明者は約2万人となった。また、原子力発電所の事故は、放射性物質による汚染などが依然として大きな被害をもたらしている。
- ◎消費税増税……2014年4月1日、消費税の税率は5%から8%となった。
- ◎第47回衆議院議員総選挙……2014年12月14日、第47回衆議院議員総選挙が行われた。衆議院議員の定数はそれまで480人(小選挙区300人、比例代表180人)であったが、この衆議院議員総選挙から475人(小選挙区295人、比例代表180人)に変更された。
- ◎EU(ヨーロッパ連合、欧州連合)……2013年7月、クロアチアが新たに加わり、加盟国は計28か国となった。また、2014年1月にラトビアが、2015年1月にリトアニアがユーロを導入し、これによりEU加盟国中19か国でユーロは流通することになった。
- ◎選挙権年齢の引き下げ……2015年6月、公職選挙法等の一部を改正する法律が公布され、2016年夏の参議院議員通常選挙以降、選挙権年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられた。
- ◎参議院議員の選挙区変更……2015年8月、公職選挙法の一部を改正する法律が公布された。これにより、これまで参議院の選挙区選出は都道府県を単位とする47の選挙区で行われていたが、2016年夏の参議院議員通常選挙以降、鳥取県と島根県、徳島県と高知県がそれぞれ1つの選挙区に統合されて「合区」となり、選挙区の数 は45となった。
- ◎安全保障関連法成立……2015年9月、集団的自衛権の行使を条件付きで認めることなどを定めた安全保障関連法が成立した。
- ◎ノーベル賞……2015年10月、大村智氏がノーベル生理学・医学賞を、梶田隆章氏がノーベル物理学賞を受賞した。
- ◎世界遺産……2011年、「小笠原諸島」が世界自然遺産に、「平泉—仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—」が世界文化遺産に登録された。また、2013年には「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」、2014年には「富岡製糸場と絹産業遺産群」、2015年には「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録された。

### ●出典●

2015年版	日本のすがた
2015/16年版	日本国勢協会
2015/16年版	世界国勢協会
2016年版	データでみる県勢
2015年版	朝日ジュニア学習年鑑
第6版	数字でみる日本の100年

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>(農林水産業の統計)

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kougyo/result-2.html>(工業の統計)